

令和6年度全国学力・学習状況調査結果

学力調査平均正答率

南関町

	小学校（6年）	中学校（3年）
国語	全国をやや下回る	全国を上回る
算数・数学	全国を上回る	全国をやや下回る
英語		全国を下回る

児童生徒質問紙調査

（全国平均を上回るもの）

- 朝食を食べる。同じ時刻に起床・就寝している。
- 学校に行くのが楽しい。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- タブレットを使うと理解が進み、考えを伝えられる。
- 話し合う活動を通して考えを深めたり、気づいたりすることができる。

（全国平均を下回るもの）

- 将来の夢や目標を持っている。
- 1日の家庭での学習時間
- 授業でICTを使用した頻度
- 自分の考えを発表する時に、うまく伝わるように組み立てを工夫している。

七月末に文部科学省より全国の結果が公表されました。南関町も、結果を受けて分析と今後の対策を検討しています。本町の結果と主な対策は、次のとおりです。

令和6年度全国学力・学習状況調査結果

南関町教育長だより

道

第5号 R6.9.9



朝タ少しずつ、秋の
気配が感じられます。

今日の論語

子曰く、「たとえ**山**をつくるが如し。未だ**一簣**を成さざるも、止むは吾が止むなり。たとえ**地**を平らかにするが如し。一簣を覆すと雖ども、進むは吾が往くなり」
 （意味）先生は言われた、「人が成長する道筋は、山を作るのに似ている。一かごの土を運ぶのを止めてしまえば、それは自分が止めたということだ。それは土地をならすのにも似ている。一かごの土をまいたならば、たった一かごといえども、それは自分が一歩進んだということだ。」
 自分の人生は、自分で決めて自分で創り上げていくものです。周りからの影響や助言はあるかもしれませんが、どの道を進むか止まるかは自分次第。悔いのない判断ができたらいいです。

（今後の対策）

- 児童生徒が互いに頑張りを認めあったり、教師から褒められたりすることで意欲と安心感をもって過ごせる学級づくり・居場所づくりを一層進めていく。
- ICTを積極的に活用し、児童生徒が主体的・協働的に学ぶ授業づくりの一層の充実を図る。
- 調査結果から明らかになった課題を分析し、それぞれの教科及び単元で身につけさせたい技能や能力を明確に児童生徒に示し、探求的な授業づくりを行っていく。
- 1時間の授業で、適用問題や振り返りの確実な位置づけ及び児童生徒の理解度・定着度の確認と個に応じた補充・アドバイスを行う。
- 【小学校】家庭学習において取り組む視点（知識・技能、思考・判断・表現）を示し取り組ませる。学年が上がるにつれて、児童が主体的に取り組む自由度（選択できる幅）を広げる。
- 【中学校】それぞれの教科・意識調査結果の分析を生徒に自ら行わせ、各自が得意分野、不得意分野を理解した上で、授業へ臨む姿勢や家庭学習の取組を計画させる。

上記内容を校長会議、教頭会議、学力向上研究協議会において説明し、各学校に浸透を図ります。